

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名【新】天下逸品創出事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 県産品企画係 電話番号：058-272-1111(内3816)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 25,971 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	25,971	10,830	0	0	0	0	0	0	15,141
決定額	24,151	9,920	0	0	0	0	0	0	14,231

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

既存の土産品は、地域や季節が限定されたものが多く、岐阜県を代表する通年販売できる土産品がない。また、中京圏の人々は岐阜が生活圏にも関わらず岐阜県の魅力を十分に知らない。「岐阜といえばこれ!」という通年販売できる土産品を開発し、県アンテナショップや集客施設を活用し、県外の人に岐阜県の魅力を発信する機会を増やすことで県への誘客を行う。

(2) 事業内容

- ①天下逸品創出事業
通年販売できる土産品の商品アイデアを募集し、専門家(デザイナー、バイヤー等)の伴走支援を受け商品化を目指す。
- ②県産品販売・情報発信拠点 THE GIFTS SHOP 連携事業
第3期の3年目となり、さらなる県産品販売・情報発信拠点機能の強化を図る。
- ③岐阜県産ブランド向上販売促進PR事業
新しく開発した土産品や飛騨・美濃すぐれもの商品などを中京圏を始めとした県外へPRし、岐阜県産ブランドの情報発信を行う。

（３）県負担・補助率の考え方

県産品の販路拡大に向けた支援施策は、県内事業者の販売力、商品開発力を高め雇用創出につなげる、県の経済対策及び地域活性化対策であり、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	357	
旅費	1,911	職員業務旅費
需用費	1,932	消耗品費
役務費	111	通信運搬費
委託料	21,660	岐阜の土産品開発費、物産展運営費
合計	25,971	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県経済・雇用再生戦略」

５ 県産品の世界展開プロジェクト

（２）国内における販路拡大支援

（３）著名デザイナーとの連携等による新商品開発・ブランド力向上

（２）国・他県の状況

他県において有名企業と連携した商品開発や、近隣県内市町村において自治体を代表する土産品の開発を実施している。

（３）後年度の財政負担

新たな土産品を通じた県の認知度向上、イメージの定着化の成果を確認するため、継続的な支援が必要。

（４）事業主体及びその妥当性

県内中小規模事業者が新しい土産品の開発やテスト販売等を実施することで、事業者の商品企画力・販売力の向上、商談機会の創出につながる。また、事業を通じて、新たな土産品だけでなく事業者の関連商品や知名度が向上するとともに、岐阜県の魅力発信を図ることができる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜といたらこれ！といった新たな土産品開発を行い、県アンテナショップや催事等を通じて発信することで、岐阜県の魅力を知り、ファンになってもらうきっかけをつくることで、岐阜県への誘客、県産品の購買を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①商品開発数		—	5	—	15	—
②「THE GIFTS SHOP」で取り扱う事業者の新規開拓数		—	40	—	550	—

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
	令和7年度当初予算にて追加
令和6年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・県内外の人への土産品の販売機会や効果的なプロモーション機会を検討する必要がある。 ・県内各地域の特色を出した情報発信拠点とすることが必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県産品の魅力発信を通じて、岐阜県に魅力を感じたファンが実際に誘客につなげるために、複数年にわたり事業を実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】